

まなづる屋の-use 特典用台本

雪・月・花

く タチとネコ…君はどちらとキスをする??く

キャスト 恋雪（こゆき） 和泉あやか

咲月（さつき） Coo

制作 シナリオ まなづる屋文芸部

デザイン にんじん

編集 まなづる屋音声部

制作 真鶴コウ

※こちらは初稿版となりますので、本編と内容が違つ箇所もございます。

トラック1 『プロローグ』

■3月1日 卒業式の日

学校裏の小高い丘の上にある伝説の木の下にて
卒業式のあと、ひとしきり教師や友人たちとの別れを済ませた
花南（リスナーさん）は親友の恋雪と咲月に
伝説の木の下に呼び出された。

//SE 待っている二人の元へ駆け寄る花南の足音

恋雪 「あ……来た」

咲月 「……遅い」

花南 「ごめんごめん、後輩たちに捕まっちゃって……」

恋雪 「うっん、こっちこそいきなり「メン」

咲月 「改まってこんなところに呼び出して、びっくしちゃったよね」

花南 「うん……」

恋雪 「実はね、今日、私たち……
花南に絶対伝えたいことがあって……ね」

咲月 「……うん」

花南 「え、なんだろう……」

恋雪 「あ、別にね、隠し事してたとかじゃないんだけど」

咲月 「隠し事っちゃー、隠し事だけど……」

恋雪 「咲月、うるさいっ。あの……実は、ね……私たち……あの……。
え、もう言っちゃっていいの。」

37 咲月 「じゃあ、私が言っ」

38
39
40 恋雪 「駄目っ、ずるいつ、じゃんけんで勝ったの私なんだから
私が言っ！

41 (スーハー深呼吸) ……えっと、私たちずっと……
42 ずー……っと、花南のこと好きでした!」

43
44 花南 「ええ!? (咲月をチラ見) ……え?」

45
46 咲月 「……うん。好き」

47
48 花南 「ええええええ!!」

49
50 咲月 「……」メンね。気持ち悪いよね」

51
52 花南 「そんなことは……いや……え……」

53
54 恋雪 「ずっと一緒にいたから、
55 私たちお互い花南に片思いしてること気がついちゃって。
56 でも、花南と気まずくなるのも嫌だし
57 三人で居たいから気持ちを伝えるのはやめようって
58 ずっと同盟組んでたの。
59 だけどね、私たち、もう気持ちを抑えきれなくて、
60 卒業式に一緒に伝えようって……なって……」

61
62 咲月 「驚かせちゃったよね……」

63
64 花南 「あの、でも……」

65
66 恋雪 「わかってるよ!
67 そんなすぐにどちらかを選べなんて言えないし、
68 私たちとの友情も心配だよね。
69 私たちね、同盟組んでるって言ったじゃん?
70 その中の取り決めで「どちらを選んでも友達は辞めない」って
71 決めてるから大丈夫。花南が本当に好きな方を選んでくれて、
72 私たちは大丈夫だよ。覚悟はできてるから」
73

74 咲月 「バカ恋雪」

75
76 恋雪 「ああん?」

77
78 咲月 「花南はできてないよ。……だから、ね。
79 今すぐこの場で決めてなんていわないよ。
80 その代わり、一度、わたしたちと友達としてじゃなくて、
81 恋人候補として、デート…してほしいんだ」

82
83 恋雪 「そう！ チャンスがほしいの！ それで改めて私たちのこと、
84 女の子として知ってほしいの！
85 私たちがどれだけ花南のこと想ってるか、知ってほしいの！」

86
87 咲月 「……お願いだよ、花南。ここで私たちをフライングで。
88 私たちの片思いしてた時間を無下にしないで。
89 ダメならダメで構わない、でも、友達だからってことで
90 チャンスももらえないのは悔しすぎるんだよ」

91
92 恋雪 「だからね、私たちと過ごしてみて決めて。
93 春休みラストの日、私たち自分の家で待ってる。
94 付き合いたい方の家に返事しに来てくれるかな」

95
96 ふたり 「お願いします!!」

97
98 花南 「わ……わかったよ。ふたりがそう言うなら……」

99
100 ふたり 「……っ！ やったー!」

101
102 恋雪 「じゃあ、最初は私ねー!
103 今度の日曜、迎えに行くからっ!
104 私が完っつぺきにエスコートするからねっ」

105
106 咲月 「まあ、いいよ。だいたいの勝負が後攻有利だし。
107 どうだったか聞いて、作戦練るから」

108
109
110

111 恋雪 「ふう、ちょございな。

112 そんな机上の空論で花南のハートを掴めると思ってたの？
113 あんたなんか入るスキマないくらい
114 私にメロメロにしてお渡しするから」
115

116 咲月 「はーああ。恋雪とマンツーマンは疲れぞ。

117 花南あ、しんどくなったらいつでもうちきていいからね」
118

119 恋雪 「キー——！ むかつく！！

120 咲月っ、一発なぐらせろっ！

121 （咲月逃げる）あ……待てー！！」
122

123 花南 「ちょ……っ！ 恋雪、咲月っ……！ 喧嘩は駄目だよー！！」
124

125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146

//AD 恋雪と咲月、ふざけ合っながら追っかけっ！ f.o.

終わる

147 トリック2

148 『恋雪と大型商業施設でウィンドウショッピングデート』

149 ■大型ショッピングセンターにて 昼下がりに
150 恋雪とのデートはウィンドウショッピング。
151

152 //SE ショッピングセンターガヤ
153
154

155 恋雪 「(店をちらちら見ながら鼻歌)ゝゝ んふふふ……♡
156 いつも三人でぶらぶらしてるショッピングセンターなのにち……
157 なんか、新鮮だなあ。
158 あ、けっこう歩かせちゃってるよね、疲れてない？」
159

160 花南 「全然大丈夫。恋雪は大丈夫？」
161

162 恋雪 「私は全然っ！ だって……私、今、夢が叶ってるんだよね。
163 もう塾にも行かなくていいし、一日好きな子とゆーつくり買い物
164 できるなんてサイコー……」
165

166 花南 「恋雪……」
167

168 恋雪 「ああ……、「好きな子」……とか、恥ずかしいよね。
169 花南からしたら、まだ私は友達なのに……ね。
170 えへへ……ごめん。なんか、自分でも気が付かないうちに
171 変なデモンションになっちゃってるな。
172 ……でも、今日は許して。これ、デートなんだもん。
173 そーゆー日……なんだから、さ。ね、楽しもう！」
174

175 花南 「うん……」
176

177 恋雪 「(手を引いて引く)ほらー。じゅっちゅっちー！
178 私、ちょっと「スメ」見てもいい？
179 春用の新しいリップ見たいんだー！」
180

181 花南 「ー！(手を掴まれてトウUNK……)」

182
183 //SE 走って行く二人 t.o.
184 //SE ショッピングセンターガヤ t.o.
185 //SE 別のショッピングセンターガヤ t.i.
186

187 (店頭のポップアップを眺めて)

188 恋雪 「ふわああああ♡♡♡ ヤバい、どれもかわいい♡
189 んべうう……リップ見たいのにこっちのチーク気になるうう！
190 っっ……でも……

191 せっかくどさくさに紛れて花南と手もつなげたのに、
192 離さないとチーク見れない……ぐぬぬぬ……」
193

194 花南 「じ、恋雪…… (汗)」
195

196 恋雪 「ねえ、あとでまた手繋いでいい？
197 てか、もう、普通に移動は恋人繋ぎで
198 手を繋がせてもらっても構わないかな。
199 私、やっと勇気出して手つなげたから離したくないの」
200

201 花南 「う……うん、大丈夫だよ、だから……」
202

203 恋雪 「ホント!? ありがとうー。助かるー。
204 じゃあ、安心して手離せるわー。
205 わて、♡ これちょっと試したいなあー。
206

207 (手の甲に伸ばしてみる) ……ほらー♡ ほらほら、
208 この艶感超絶かわいいー！
209 ちょっとほっぺもせてみるね……
210

211 (自分の頬にポンポン) ……んん？ なるほどお？
212 これさあ……実は花南の方が馴染むんじゃね？
213 ちょっと、顔、こっち側貸して。少し塗っていい？
214 てか、塗らせて？
215

216 (花南の頬にポンポン) ……んんー、いいね。薄めで大丈夫だね。
217 ほら、花南だとすっぴん肌になじむ。いいねー！
218 あ、そしたらこのリップだよー。

219 私、インスタですっとチェックしてたんだー♡
220 見てっ！、かわいくない？

221 私はこっちの02番のが欲しかったんだけど、
222 花南は01だね。こっちのがくすみがないから。

223 ……ちょっと、のせてみていい？ てか、のせるね？

224
225 (花南にリップのせようとする) あ、口んんーってやんならど。
226 力抜いて……そう、少し半開きにして……

227 ふふ、顔近いと恥ずいよね？ 目、閉じていいよmmm」
228

229 花南「わたくしお返しします」
230

231 恋雪 「リップを指にとって……口ぽんぽんぽん……
232 少しずつ広げてく感じで……。

233 あれ、見た目より発色薄いかも。

234 グラデーションはあんまできないか……？

235 ポンポンポン……ポンポンポン……ぽ……

236
237 (しばし見惚れる)

238 ……花南、かわいすぎ……
239

240 (無意識で指越しに唇触れる程度のキス) ちゅっ♡」
241

242 花南 「ひゃあー！」
243

244 恋雪 「(大声で我に返る) ……はーっはー
245 あ、ああ！ っ！ っめっ……！

246 ち、違っの！ 今の、ナシ！ 完全に無意識っ！
247 わざとじゃないっ！ わざとじゃっ……！

248 だだだって、好きな子が口半開きで目を閉じて
249 無防備に顔向けてたらさあああ……」
250

251 花南 「だだだって、そうっして……」
252

253 恋雪 「だよね、私がそうっして言ったんだもんね！ 罨だよね！
254 (孔明の罨みたいに言っ) 恋雪の罨だよね！

255 ……ま……まことにすみませんでした……！

256 でも、ほら、リップ付けてた指越しだったっ、
257 キスにカウント入らないということで……許して……っ。」
258

259 花南 「いいよ、あーびっくした」
260

261 恋雪 「……ありがとう、浮かれすぎないよう気を付けますっ。
262 お詫びに……私が選んだこのチークとリップ、
263 プレゼントさせてくれないかな。」
264

265 花南 「いいよいいよ（汗）」
266

267 恋雪 「いいのっ！ 自分のも貰うんだから。
268 ふたりだけのおそろいのチークとリップ持つの、夢だったんだ。
269 ……お願いー！」
270

271 花南 「……恋雪がそっぴいなら……」
272

273 恋雪 「ありがとうー！ えへへ、嬉しー！
274 今日の私、この三年間の夢全部叶えちゃってるよー！
275 花南のおかげ。花南、大好き」
276

277 花南 「……！ 恋雪っこー」
278

279 恋雪 「ハイハイ、「好き」はまだ聴かずかしらんだよね。
280 ……いふふ、いふ、眠ってねばー」
281

282 //SE 走って行く足音 f.o.
283

284 //SE 工場内ミュージックセンターガヤ
285

286 //SE 走って行く足音
287

288 恋雪 「おまたせ〜。マジ奇跡的にあつたー。はっ、キューン」
289

290 花南 「あーがっぴい」
291

292 恋雪 「いいえ〜。この春、っぴいっ！ 一緒にいっけな〜♡」

293 ……さて、ここからどうしようか。まだ見たいものある?」
294

295 花南 「私はもう大丈夫かな。恋雪は?」
296

297 恋雪 「私も大体見たいもの見れたかな。
298 んー……でも、解散するにはちょっと早いし、お茶でもするか?。
299

300 ……って、そっか、春休み中だもんね。
301 時間的にどこも混んでそうだなあ……。
302

303 あ、ねえ、よかったらうち来ない?
304 おねえちゃんがめっちゃおいしい紅茶買ってきたんだ。
305 うちでお茶しようよ」
306

307 花南 「いいの?」
308

309 恋雪 「うん、今日、みんな出かけてるし、気い遣わなくて大丈夫よ」
310

311 花南 「じゃあ、お言葉に甘えて」
312

313 恋雪 「よし! じゃあ、美味しいケーキ買っていこう~!」
314

315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329 終わる

330 トリック3

331 『恋雪の部屋で初恋雪っち』

332
333 ■恋雪の部屋 夕暮れ時

334 おねえちゃんの紅茶を頂きながらまったり過ごす二人。
335 買い物の戦利品を広げておしゃべりをしている。
336

337 恋雪 「このスカート、もういいこ試着した方あったじゃん。
338 そつ、色違いのやつ。あっちのがよかったかなあ〜……」
339

340 花南 「そっ。 似合ひゃあなよ」
341

342 恋雪 「花南がそついいならいいばい履いちゃおう♡
343 お揃いで買ったリップはどうかな〜。
344 私は試しつけせずに買ったからな……
345 (リップを塗ってみる) なん〜ん、こんな感じ。 むおっ」
346

347 花南 「わ、かわいいー」
348

349 恋雪 「ホント？ かわい？ イケそつっ。 むむむむっ。
350 (自分でも鏡で見てみる //SE 「パップ」開く音)
351 あー、なるほど、ベースメイク明るめにつけは
352 浮かずにイケそつですなあ……。
353 よかったー、お揃いでいいばい使えそつ♡
354 花南はよく似合ってたもんね……。つっ、
355 あ、ケーキとお茶で落ちちゃったね。色持ちはあんまりかーっ」
356

357 花南 「え、ほんむっ」
358

359 恋雪 「せっかくだし付け直してあげるよ。
360 ……ふう、顔近いの恥ずかしかったら田ひむっつらっよ」
361

362 花南 「え……っ」
363

364 恋雪 「あはは、もうっしない、もうっしない！ 信っつよ」

365
366 花南 「わかった……（目をこむる）」
367

368 恋雪 「じゃあ、リップのせるねー、口の力抜いて、
369 すこーし……そう、口半開きにしてて……♡
370 （触れ合う程度のキス）ちゅっ」
371

372 花南 「……っ♡」
373

374 恋雪 「ふふっ……しないわけ、ないじゃん。信じちゃダメだよ♡」
375

376 花南 「恋雪い……（汗）」
377

378 恋雪 「私の、ファーストキス……だよ。花南は♡」
379

380 花南 「……………わたし、も」
381

382 恋雪 「（照れ）えへへ……そか。
383 ね？ 咲月は大切なこと忘れてる。
384 後攻のほうで戦略を練られるかもだけど、
385 このボーナスは先攻じゃないともうえないって♡」
386

387 花南 「……っ」
388

389 恋雪 「それに、ほら。ちゃんとリップも付け直せたよ。
390 もっと……可愛く塗ろうか。唇の内側から……外側に向けて……
391 グラデーションを付けるように……♡
392 （降り注ぐようなフレンチ・キス）
393 んっ……ちゅっ……ちゅっ……ん……ちゅっ、ちゅっ……ん……ちゅっ
394 ……ちゅっ……っ……ん……ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ。
395 ……はあ…。ふふ、まだチーク塗ってないのに、ほっぺもまっか」
396

397 花南 「……っ」
398

399 恋雪 「花南……。私、ね。花南の嫌がることはしたくない。
400 私のいじり、怖っ♡」
401

402 花南 「(ゆっ／＼首を振る)」
403

404 恋雪 「ねえ、嫌って、言ってる？」
405

406 じゃないと、私……止められそうにないよ。
407 花南の唇……すっ／＼、気持ちいい……。

408 私が想像してたのなんかより、何十倍も、何百倍も……柔らかくて、
409 甘くて……漏れる息が、えっちで……。

410 だから、お願い。嫌だって……私を拒否、してよ……」

411 花南 「怖くない、いやじゃないから……困ってるの」
412

413 恋雪 「馬鹿……だね。それは、イエスってことだよ。」
414

415 (言いながらフレンチ・キス) 花南……んう……ちゅっ……ちゅっ……
416 んう……ちゅっ……ちゅっ……ん……ちゅっ……

417 つはあ、キスって、こんな、気持ち、いい……ん……だね……♡
418 力抜いてよ、さっきみたいに……□、開いて……

419 (舌を入れる) んう……んちゅっ……んるっ……んちゅる……♡
420 つはあ、はあ、んう……ちゅるる……っん……っ、花南……

421 んるっ……っ、ちゅっ……んちゅる……んう……♡
422 ね……、舌、出して……んはあ……♡ちゅるるるっ……じゅるるっ……

423 んるる……♡んはあ、はあ、花南……も、私の舌……吸ってみて……♡
424 んっ／＼……っ、んん、ん、んん……んちゅるる、

425 じゅる、ちゅるっ、……っはあ、はあ、はあ、花南……」

426 花南 「……………」
427

428 恋雪 「花南…好き。好きい……。初めて会った時から……………」
429

430 花南 「……………」
431

432 恋雪 「(□から耳、首筋へキスしながら身体を触る)」
433

434 こんなことされて……気持ち悪いって思ったり、嫌だっと思ったら
435 ……すっ／＼、止めて。私、花南のためなら我慢できるから。

436 我慢して、みせるよ。

437 でも、もうキスだけじゃ止められそうにないや。

438 花南がほしい……全部、ほしい……「めん……「めんね、

花南あ……」

「~~~~~!」

恋雪 「(服を脱がせ始める) ……はあ、はあ、はあ、花南あ…

ほら、脱がされちゃってる、よ。

どうしてちゃんと嫌がってくれないの？

私……調子、のっちゃうよ。

好きな子が……自分のこと受け入れてくれてるって……

私を傷つけないから、我慢してくれてるだけかもしれないのに

……もしかしたら、私とのキス気持ちよかったんじゃないかって。

女の子同士でも……気持ちいいって、思ってたんじゃないかって……。

(パンツだけになった花南を見て見惚れる)

……はあ、はあ……裸の花南……キレイ……。

おかしいね、何度も一緒にお風呂に入って、何度も見てるのに。

じつして……触れるの……ずっとずっと、夢見てた……。

花南の……おっぱい、だあ……♡

(乳首に口付ける)あむ……ん、んちゅっ♡」

「ひゃあっ!」

「んっ……、じゅん、痛かった。」

「ち、ちがっ……!」

「きもち……よかった、の。」

「(恥ずかっぞろい「くこっ頭」)」

恋雪 「(感激) ~~~~~!」

そ、そっか……、花南、おっぱい、気持ちいいんだね……!」

じゃあ、いっぱい……キス、させて……!!

(乳首吸っ)あむっ……んっ♡ちゅるっ、ちゅるっ、ちゅぽ、ちゅ

ぽ、ちゅぽ……♡ んちゅっ♡ちゅるっ……♡ ちゅっ♡んっ♡

ちゅるるー! ちゅぽ……ちゅるる……ちゅっ♡んる……♡

476 …んる…う♡ じゅるるるっ！
477 っはあ、声、かわいい…なに、その声……んう…っ♡
478 ちゅぱ、ちゅぱ、ちゅぱ…っ♡ んちゅる、んじゅる、そんな…
479 声、聴いたこと、ない……っ♡ んちゅっじゅるっ……もっゅ…
480 もっゅと聴かせて…あむう……んんっ♡
481 っロっロっロっロ…♡っロっロっロっロ…♡
482 すっ…っ…い、花南の匂いが…っぱっ…
483 私、幸せで気がおかしくなっちゃっそう、だよ……！
484 (手を下に伸ばす)
485 んはあ、はあ、……あっ、……あぁっ、は…花南あ……あっ、
486 濡れてる……っ！ 花南の「っ」……びちゃびちゃ、だよ……っ」
487

花南 「(気持ちよめと聴きながら言葉にならない)」

//SE パンチを脱がせる衣擦れ

恋雪 「(パンチ脱がせながら) ……花南…感じっわっ…嬉し…。
492 じゅめんね、ちょっとな聴ずかしいかもなんだけど……もっ少…足
493 開いてくれないかな。
494
495

(花南のアソコが丸見えになる)
496 ……はあ、はあ、すっ…っ。花南のアソコ…っくっくってる。
497 触ってほしいの？ それとも舐めてみようか？
498 ……んむっ、何か言ってくれないとわかんないよ。
499 無言は、全部、イエスだよ。
500 触ってほしいし、舐めてもほしっ…っことで……大丈夫、かな？
501 (やさしくクリに触れてみる) こっが……クリトリス、ね。」
502
503

花南 「んあぁっ！(腰が跳ねる)」

恋雪 「きゃっ！ ……はは、すっっ反応……！
506 こんな小さな突起に触れるだけで…あの花南が……
507 こんな風になっちゃうなんて……。
508 (クリトリスに愛液を塗りつけながら優しっ…っねる)
509 花南……じゅめん…かわいすぎる……もっゅ、見せっ…。
510 又ルヌルをクリちゃんに塗り付けると……滑りがよくなるみたい。
511 皮の奥に隠れてる……っの子、だよね。
512

513 花南、気持ちよそつ♡

514 なでなでー……♡ なでなでー……♡

515 めりめりして、こねこねして、

516 ……すごい、花南、めっちゃ女の子の声出てる……

517 かわいい…すごい、かわいい……私の指で……

518 こんなにえっちな姿見せてくれるなんて……

519 もっとしてあげたくなっちゃうじゃん……！

520 ごめん、花南…頑張って……！

521 もっ少し、強めにしちゃう、ね……♡

522 はあ、はあ、はあ、……ああ……すごい、きもちいい。

523 ……これがいい？ 皮剥いて、エッチなお汁でぬるぬるにして、

524 芯のところコスコス擦ってあげるのが……花南、きもちいいんだね

525 ……♡

526 (集中してクリを弄る) ……んっ、…んっ、…んっ、…んっ、

527 ……っはあ、はあ、はあ……花南、腰ガクガクしてる……

528 足の指…広がって……花南、イクの……？

529 いいよ。気持ちいいね、花南が気持ちよくなった顔も声も……

530 私、大好きだよ。

531 花南、怖がらないで……感じるまま…私に委ねて。

532 気もちいいって思うまま……そのまま……花南あ……ー」

533

534 花南 「(絶頂) めめめ」

535

536 //SE 潮吹き

537

538 恋雪 「(顔にかかる)んああっ！っはあ、はあ、はあ、

539 ……花南……上手にイケたね……

540 すっぴん、こんなに Outreach た、よ……っ。

541 すべキレイにしてあげるから……ね。

542

543 (愛液を吸るお掃除クンニ) あむ……ん、むっ……んぢぢぢぢぢぢぢぢ

544 じっ……んっ、んぢぢぢぢ、ちぢる……んはっ、んぢぢぢぢ、

545 ……んぢぢぢぢ……ちぢぢぢぢ」

546

547 花南 「だめ、きたない、よお……っ！んああっ」

548

549 恋雪 「んはあっ…はあはあ、汚っ……なんて、ないよ♡

550 んちゅっ、ちゅるっ♡ 汚いわけないじゃない、
551 大好きな子の……こんなに可愛いアソ」……♡
552 んムウ……んるるるっっ、んちゅるる、っはあ、はあ、んんっ……ん
553 じゅるるっ……んうろお……んろおお……れろお、んちゅっ……ちゅる
554 ……んちゅるるるっ、ん……！
555 んはあ、私の、舌…アソ」の中、入っちゃってる、よ……♡
556 すっじい、ぎゅっぎゅっ……して、る……♡
557 んちゅるる、じいも……いいんだ、ね……♡
558 んっるる、ちゅろろ、ちゅるる、ん、ん、んじゅる……んちゅっっ♡
559 っはあ、はあ、まだイっちゃうの？ 花南……えっち……♡
560 (追い込みクン！) んちゅっ、んじゅるるるっ、ちゅっ……っ
561 ……んっるっ……ちゅるるるっ……ちゅるるっ、
562 ……んっっ……んんんっ……！！！！」

563
564 花南 「(絶頂) ……っ！！」

565
566 //SE 潮吹や

567
568 恋雪 「(顔にかかる) んあああんっ♡♡♡」

569
570 恋雪 「——はああ、——はああ、——はああ、——はああ、
571 ——はああ、——はああ、——はああ、——はああ、
572 (顔拭いながら) ……花南、大丈夫？」

573
574 花南 「はあ、はあ、はあ、……うん、なんとか」

575
576 恋雪 「ごめん……私…花南が受け入れてくれたのが嬉しくて……
577 調子乗っちゃった。ほんと……ごめん」

578
579 花南 「大丈夫、だよ」

580
581 恋雪 「花南……っ。本当に、ありがとう。
582 こんなに素敵な思い出をくれて。
583 私の初めて、いっぱい貰ってくれて。
584 花南の初めて……いっぱい、私にくれて。
585 今日一日は、私の一生の宝物になると思う。
586 どんな返事でも、私、もう思い残すことなんてないから。」

587 傷つかないよ、大丈夫だからね。
588 自分に素直に、返事してくればいいから」
589

590 花南 「恋雪……」
591

592 恋雪 「まあ、絶対幸せにするからさ。
593 春休みの最終日は私のところにおいで。待ってるから。……ね♡」
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622

終わら

623 トリック4

624 『咲月と公園散歩デート』

625 ■近所の大きめの公園にて 風さがり
626 咲月とのデートは公園お散歩デート
627
628

629 //SE 公園のガヤ
630

631 咲月 「……だいぶあったかくなってきたね。空気に春が混じってる」
632

633 花南 「ほんとだね、気持ちいい」
634

635 咲月 「あ……花壇の花もう咲き始めてるね。
636 いじ、桜の時期になると他の花たちもすこいんだよ。
637 よかったら、今年はお花見、しようよ。
638 ……もちろん、恋雪も呼んで、三人で。ね。」
639

640 花南 「(咲月の気づかない間にJCS)」
641

642 咲月 「……。私たちが試験試験で参考書ばかり見てるうちに、
643 季節はちゃんと巡っててすこいよね。
644 むほらず、きちんと、ぐるぐる回って……。
645 いじに来るのも久しぶりだな……。
646 もうテストに追われなくてよくて、のんびり散歩できるなんて……。
647 なんだか変な感じ……。
648 ……あ、退屈じゃないかな。恋雪とは買い物行ったんでしょ。
649 ごめんね、私とのデート、散歩とか……。地味で。
650 おばあちゃんみたい」
651

652 花南 「ぜんぜん、私ものんびりしたかったもん」
653

654 咲月 「ふふ、花南ならそう言ってくれると思った。
655 お天気がよくてよかったね。
656 あ、運がいいと、あの植え込みのあたりで
657 三毛猫ちゃんに会えるんだよ。行ってみるc。」

658
659 //SE 一人歩き出す足音
660

661 咲月 「んー……今日は来てないのかな。
662 ほら、この陽だまりでよく日向ぼっこしてるんだけどなあ。
663 まあ、私たちが日向ぼっこでもしながら、
664 のんびり歩いてたらまた会えるかな。行こっか」
665

666 花南 「咲月はいつよく来るの。」
667

668 咲月 「……じいっ。うん、よく来るよ。
669 最近はさすがに来られなかったけど、
670 秋くらいまでは勉強中の気分転換に外の空気吸いに来たりとか……
671 あと……嫌なことあったりするし、
672 気がおさまるまでビル・エバンスを聴きながら
673 じっして歩いたりとか……
674 そっそっ、ストレス発散だね。
675 なんか、この公園の景色と合うから落ち着くんだよね」
676

677 花南 「私も聞いてみたいな」
678

679 咲月 「え、花南ジャズとか聴くの。」
680

681 花南 「普段は聴かないけど、咲月がそんなに言うなら聞いてみたい」
682

683 咲月 「私の好きなもの……知ろうとしてくれるの。」
684 ありがとう。私も花南とジャズ聴けたら嬉しいなって
685 思ってたの……。
686 じゃ、じゃあ……“ブルシ・フォー・ティ”なら
687 聴きやすいと思うんだよな。
688 はい、AirPods片方……じいっ。じゃあ、流すよ……
689 (二人で聴いている) ……………。
690 ……ふふ、じいっのってわ、よくあるのだよ
691 有線のイヤホン片方渡して、近づいてデキデキ……
692 みたいな、だよな。
693 無線だから……ね。なんか、思ってたのと違う……かも」
694

695 花南 「じゃあ、頭くっつけて聴いてみる？」
696

697 咲月 「……え。頭、くっつけて……？」
698

699 (花南がこつんと額をつけてくる) ひゃ……………っ！
700

700 ……………あ、…は、あ……………う、わ……………
(息詰まり離れる) ……………ぷはああ！
701

701 ぐ、ぐめん！ 緊張しすぎて曲が全然頭に入ってこないや……………！
702 も、もっつ！ 花南、わざとやってるでしょ。
703 私のことからかって……………いじわる……………。

704 704 もっつ、AirPods 収め……………」
705

706 花南 「(楽しそうに笑う)」
707

708 咲月 「(笑っている花南を見て) ……………。

709 ……ねえ花南、今日なんだか雰囲気違う……………ね。
710

710 なんか、大人っぽいっていうか…キレイっていうか……………。

711 い、いやっ、いつも可愛いんだけど、今日は特別っていうか、
712 その服、見たことないっ。

713 ……あの、もしかして、なんだけど。

714 私のために、おしゃべりしてきて……………くれた？の、かなって……………」
715

716 花南 「う……………うん。デートだと思ったら、つい……………」
717

718 咲月 「マジか……。うは、顔熱い……………。

719 ……すごい、嬉しい……………。うん、ホント可愛いよ、ありがとう。

720 ……な、んか、ずっと友達だったのに…

721 急にこんなことに巻き込んで……………ごめんね……………って。

722 本当に申し訳ないなって、思ってた。

723 でも、花南は嫌な顔せず、私たちのこと受け止めてくれたよね。

724 ……すごく困らせちゃってるだろうけど……………拒否しないでくれて、
725 ホントありがたい。

726 私、めっちゃくちゃいい子好きになったんだな……………って、
727 改めて惚れ直しちゃったんだよね」

728 729 花南 「(恥ずかっそのあまごいおねい)」
730
731

732 咲月 「~~~~っつ、んんん、恥ずかしいこと言ってごめんっ。
733 私も……超はずいっつっ、こんなのガラじゃないよねっ」
734

735 花南 「もう、やだ咲月……」
736

737 咲月 「えへへ……。
738 ……ああ！ 三毛猫ちゃん、いた！
739 ほら、やっぱりあのお気に入りの場所に行こうとしてるとこだね。
740 ねこちゃん。チチチ……おいでー。いつものおやつあるよー。
741 (鞆ガサゴソ)ん？ あ、この公園猫多いから、持ち歩いてんの。
742 ほら、そのこと知ってるからこっちきたよ」
743

744 //SE 猫vのvん～
745

746 咲月 「はい、花南あげてっらん。
747 ふふ、すごい勢いで足にしゃりしゃりしてるーかわいいー、
748 花南、はやくはやく……っふふ
749 あー、食べてる食べてる。
750 美味しいねー、かわいいねー、っふふ……
751

752 (二人でニコニコ猫がちゅーるを食べるのを見守っている)
753 ……………♡
754

755 すっごい、あつという間になくなった。
756 あ、あーあーあー、花南の指食べちゃいそうくらい舐めてるね。
757 ふふ、猫の舌、ザラザラだからちよっと痛いよね。ふふ……
758 はいはい、もう終わらだよー。ほら、もうないよー。
759 ね？ おわりっ。君が全部食べちゃったんだよー
760

761 (猫、満足そうにお腹「ロン」)
762 あはは、お腹出して甘えてるー。
763 なでなでしてあげな。っふふ、のびのびー。きもちいいねー♡
764 ありがとー美味しかったよーって言ってるね。
765 よしよーし、よしよーし、っふふ……よしよーし……
766 ……………いいなあ……私も猫になりたい……」
767

768 花南 「くっ」

769
770 咲月
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805

咲月

「ん？ 私、今なんか変なこと言った…………？」

言ったねえ、心の声漏れてた…………？ え、やだ怖い

…………あは、あはは。

あ、なんか、ちょっと冷えてきたね。

…………うち、近いし、コーヒーでも飲んで〜？

うん、温まってる…………。

あは、ははは…………ねこちゃん、もう、私たち行くね。

日向ぼっこ、楽しんで…………あは、はは、ははは…………」

//SE 二人歩き出す足音

公園のガヤf.o.

終わら

806 トリック5

807 『咲月の部屋で初咲月っち』

808
809 ■咲月の部屋
810 咲月の「コーヒーを飲みながら温まる二人

811
812 咲月 「花南……おかわり、どお？」
813

814 花南 「あ、ありがとう」
815

816 咲月 「ん……」
817

818 //SE カップに「コーヒーを注ぐ」
819

820 咲月 「歩いてたからあんまり気にならなかったけど、
821 やっぱり冷えてたんだね。『ごめんね、公園なんて選んじゃって。
822 花南、やっとほっぺに赤みがさしてきたね。
823 私もやっと身体は温まってきたけど、指先がまだ……あ」
824

825 花南 「(咲月の指先握る) つめたっ、ほんとだあ……」
826

827 咲月 「っっ！ ……あ、や、やだあ、……急に掴むから……
828 「ーヒー、じぼしそつになっちゃったじゃない」
829

830 花南 「えへへ、『めんどめんどー」
831

832 咲月 「……………」
833

834 花南 「……咲月？」
835

836 咲月 「……っは、はは……だめだあ……。
837 何で今日こんなに緊張するのか……わかつちゃった……」
838

839 花南 「え、緊張してたの？」
840

841 咲月 「うん。緊張してたよ。ずっと、ずっと。
842 ……私……私、期待してたんだ。
843 私も、してもらえるかもって……」
844

845 花南 「なに、を……？」
846

847 咲月 「恋雪にね、聞いたの。
848 同盟の条約でどんなデートしたか包み隠さず話すって
849 約束してるから。
850 それで……そういつごと……した、……って」
851

852 花南 「あ……」
853

854 咲月 「だから……だから、ね。上手にデートできたら……私、も。
855 ……私も、花南に触れて貰えるかも……って。
856 キスして…抱きしめて、貰えるかもって。
857 なのに…そう思えば思うほど、緊張しちゃって……
858 うまく、話せなくて……。
859 私は、……なんていうか、ちょっとナシだよね。
860 恋雪はすごい楽しくたって言ってたし、
861 花南も恋雪がきつと……」
862

863 花南 「そんなことないよ！ そんな……」
864

865 咲月 「……そんなこと、ない？ ホントに？
866 じゃあ……私も……したい……よ。
867 恋雪になにされたの？どんなこと、したの？
868 されたこと、私にも全部してほしいよ……」
869

870 花南 「咲月……」
871

872 咲月 「だって……私、わかんないんだもん。
873 どうやってたら花南を気持ちよくしてあげられるかなんて。
874 だから教えて？ 私、一生懸命覚えるから……
875 お願ひ、花南……。お願い……。
876 どんな官能的な音楽いっぱい知ってたって、
877 なんの役にも立たないや。

878 私、恋雪みたいに、できない。
879 花南になんにもしてあげられない……。
880 ほんと……情けない……私っ……………」
881

//SE 抱きしめる衣擦れ

882
883
884 花南 「(咲月を抱きしめる)」
885

886 咲月 「……………」
887

888 花南 「わかった、わかったから……………」
889

890 咲月 「は……花南あ……。いい、の？」
891

892 (花南、優しくキス) んう……………っ。ん…ふ…チュッ…チュッ…ん
893 ……ふ……………ちゅっ…ちゅる……………あ、はあ…んんっ♡
894 ……んふう…んんっ…ちゅっ…ちゅる……………んっ
895 ぷはあ…ああ……………う、わ…あ……………これ、が…キス……………?
896 これが…キス、かあ……………。すごく、きもち、いい……………。
897 私も、してみても……………いい？ んう……………んっ♡
898 ……ちゅうう…んううっ…ちゅっ、ちゅう、んう…ちゅうっ……
899 ふあ…あ、花南……………ま、って…んううっ♡
900

(ディープキスになっていく)

901 んふうっ! んじゅっ、んうう……………ちゅうるうう! ふううっ、んちゅ
902 う、ちゅうっ、んちゅるううっ! ふあ、んあ…んちゅる、んじゅ
903 るう…ちゅううううる…ん…うんんっ!

904 っはあ、はあ、はあ、あ…ああ……………花南の目の中……………私が、いる
905 ……こんな私…知らない……………すっ、い……………花南、きもちいい……………!
906 ねえ、これだけ……………じゃ、ないよね? 恋雪としたこと……………。
907 私、さっきの猫にもやきもちやいちゃったんだよね。
908 私も、花南に撫でられたい。私も花南の指、舐めたいって……………。
909

910 (手を取り、指を舐める) ちゅっ…ん…じゅる、ちゅるるっ、
911 じっ、して…ん…猫、みたいに……………んちゅるるっ……………んう…
912 ちゅっ、ちゅるる…んちゅるっん♡
913

914 私、めんどくさい…な。でも、こんな自分、
花南に恋するまで知らなかった。それくらい、好きなの……………。

915 ……ん、服…脱ぐの？
916 ……は、恥ずかしいから……脱がしいつこでも、いい？
917 花南、も……ん♡
918

919 //SE 服を脱ぎ口衣擦れ
920

921 (キスしながら服を脱がしあう) …ちゅる、んじゅるる…はっ…あ
922 ……ん…ちゅるるっ…んん、ちゅうっ！ちゅるるっ…ちゅ…う！ん
923 ふあ、んっ、ちゅうっ！
924

925 はあ、はあ、…ああ…はずか、い……んうう…っ！
926

927 じゅるるっ…じゅるるっ…ん、ん、んうう、ちゅう…じゅるる…ん
928 ちゅるるる…うう…は…ちゅるるう…ちゅう…っ…ちゅう…っ！
929

930 (胸にキスされる) ふあっ…！あっ、は…な……あっ！
931

932 あ……ああっ……う、わ…花南、の、指……おっぱい、クリクリ
933 ……んんんっ、吸わない、で……それ…なん、か……ふあああっ♡
934 や、やあ…ちゅぱちゅぱ…それ…っっ♡……ああっ……ああっ……
935 ああっ……ああっ……ああっ……っっんんんっ♡
936

937 は……花南あ(気持ちよくて肩を噛む)…あむっ……んんっ、んん
938 っ、んんっ、変、な……声、でちゃう……恥ずかしい……いいっ
939 ……ふあああっ♡……ああっ

940 (噛む) んううっ…ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡ん♡
941

942 花南…クリクリされながら、ら…おっぱい、先っぽ…舐める、の…
943 それ……きも、ち、いい……よお……♡
944

945 あぐっ…ん…うぐっ…んんんっ…ふっ……
946

947 ああ、私……おしっ、漏らした、みたいに……なって、る……
948 ごめん、汚いよね……
949

950 //SE クリ弄る水音

(花南の手がクリを弄る)

947 んああっ!! ……っはあ、あ、うあ…ダメ…ダメダメ、
948

949 花南……そんなとっ、触ったら汚っ…んうう!!
950

ひゃあっ、あ、あ、あ、あ、…っうああ、や、なに、これ……
う、あ…や、やだ……あ、花南、見ない…でっ……!

951 んふう、ふう、う、う……んふうう、お腹……べりべり、しゅ、る
952 っ……うっ♡
953 そっ、つまんで、シロシロされ、……た、ら……がま、ん……で
954 き、な……うあ、……ふあ、あ、あ、あ、あ……んああ、あ、
955 あ……ああ……
956 や……きも、ちよく……なり過ぎ、ちゃう、花南……は、な……ああ
957 あ……いやあ……
958
959
960

//SE クンIHP

961 (花南クンI開始)
962 ひいうっ！ ふああ、あ、は、花南……ああっ、なに、してる……の
963 っ！ ダ……メ……！ ダメダメダメダメダメええっ！
964 そんなとこ舐めたら、汚い、汚い、汚い、ふあ、あ、……っ♡
965 ああっ！ 恥ずかしいよおお、花南……花南ああ……っ。
966 んふうう！ んあ、それクリクリしながら……舌、入れない……でっ
967 ……♡

968 うああ……あっ♡あ……ああっ！ああああん………♡
969 んん！ くうううっ！ ううう、うっう………うっ！
970 は……花南、が……私の、花南が……私の……汚い、とこ……
971 夢中で舐めて、るっう………！

972 ん、ん、ん、んっう……！うあああ、ああ、……っううう……っ♡
973 んんふうう……ううあ……ああ！ ああ………ん………！
974 すご………うあ、……頭が、おかし、く………なりぬ……うう♡
975 んああ、はあ、はあ、はあ、あああきも、ちいいい………っ！！
976 あああ——あああ——あああ——あああ——

977 花南あ、好き……花南あ、好き……好き……好き……す、き……すき
978 ……す……っ、しゅきっ♡しゅきっ♡しゅきっ♡………いいっ♡
979 あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、も、ダメ………は、な………く、ち……
980 はなして………で、でちゃう、おしっこでちゃ、う………！！
981 んんっうっう………！！

//SE 潮吹や

(絶頂)~~~~っっっ♡♡♡♡♡！！

982
983
984
985
986
987

988 (余韻)——っはあああああ、——っはあああああ、

989 ——っはあああああ、——っはあああああ、——っはあああああ、

990

991 ……あ、ああ……花南……ごめ、ん、大丈夫？

992 なんか……頭真っ白になっちゃって……もう、わかんない……

993 まだ…アソコが気持ちいい……♡

994

995 はあ、はあ、……ああ、花南……肩に噛み跡…ついちゃった。

996 私気持ちよすぎて……夢中で……ホント…ホントごめん……。

997

998 ……でも、花南のまっしろな肌に……花びらが舞ってるみたい。

999 私と、花南が愛し合った跡がこんなにキレイだなんて。

1000

1001 ……ねえ、花南。私にも、つけて。

1002 私には、一生消えないくらい。首に跡をつけてほしい……。

1003 春休みが終わって、全部に答えが出た時に、

1004 それがあれば寂しくないと思う……から。

1005 お願い、花南……」

1006

花南

「そんな……噛んだりなんてできないよ」

1007

咲月

「噛むのに気が引けるなら、キスマークでいいよ

1010 一生消えない跡、付けて……

1011

1012 (花南、首筋にキス)

1013

1014 んっっ……！……っ、ん……あ……花南……っっ。

1015 は、な……あ。好きい……。

1016 もっと、吸って……んふ……もっと……もっと、強く……

1017 花南、好き……はな、はな……ああ……っ」

1018

1019

1020 咲月の吐息、f.o.

1021

1022

1023

1024

終わら

1025 トリックの『恋雪回想ルート』

1026

■春休み最終日 恋雪の家・玄関先 花南が恋雪を選んだ場合

1027

1028

//SE ユンポーン

1029

1030

（玄関先に居る花南を見て、涙ぐむ）

1031

恋雪 「花南……！（抱きつきそうになるのぐちゃぐちゃ）……っ、

1032

とりあえず、入って。私の部屋、行こう」

1033

1034

//SE 部屋に入るドア音

1035

1036

恋雪

「……今日、ここにきてくれたってことは……そうなのじゃね。」

1037

1038

花南

「（じつから頷く）」

1039

1040

恋雪

「（泣きそって）……」

1041

（花南を抱きしめる）あ……ありが、とう……！

1042

も……もう、友達に戻ろうって言ったって、ナシだからね。

1043

咲月の方がいいって言ったって返さないからね。

1044

花南は……私の花南なんだからね」

1045

1046

1047

花南

「……うん♡」

1048

1049

恋雪

「うんって言った？ ……うんって言ったね！ やったー！

1050

花南、ありがとう！ ……あ、咲月にメールしなきゃ。

1051

きこって花南のじゅ待ってるから」

1052

1053

花南

「え……」

1054

1055

恋雪

「じれも同盟条約のひとつなの。

1056

ずっと期待して待たされるのも酷でしょ。

1057

花南から連絡させるわけにもいかないし、

1058

もし花南が来たら自分たちで連絡し合おうってね。

1059

えー……っし、「私ががんばる」よ。そーなーっし！！」

1060

1061 花南 「えええっ、そんな言い方!」

1062
1063 恋雪 「ふふ、ひどいと思うっ。

1064 言ったでしょ、私たち覚悟できてたんだよ。これで十分。
1065 次、咲月と会うとき、

1066 私たちちゃんと幸せだよって顔してあげてないと、
1067 咲月、次に進めないから。

1068 もし私が振られた方だったとしても、
1069 こんなにバツサリって欲しいもの。

1070 ……だから、花南は絶対に自分を責めないで。
1071 咲月はそんなに弱くないよ」

1072
1073 花南 「恋雪……」

1074
1075 恋雪 「私たち三人の友情は変わらない。

1076 でも、私たち二人の愛情は今から育てるの。
1077 ずっと……ずっと、我慢してたんだもん。花南、いいよね。」

1078
1079 花南 「(じゅんじゅんと頷く)」

1080
1081 恋雪 「一生、大事にする。私を選んでくれてありがとう。

1082 花南、大好き……
1083 (キス)んっ……んちゅっ、ちゅっ、ん……ちゅるっ、んちゅ……れろ

1084 …ちゅっ♡ ちゅっ、ん……ちゅるっ……はあ……はあ……。
1085 花南あ……ベッド、うい……

1086
1087 //SE <シャツ押し倒す音>

1088 (ディープキスしながら優しく押し倒す)

1089 んふっ……う、んん……んちゅう……ちゅるっ……ちゅう、ちゅう……
1090 んふっ……ちゅるっ……♡

1091 …っはあ、はあ、……ああ、やっほ……
1092 花南とのキス、きもちいい♡

1093 あんなに夢見てた花南とのキス、一生できるんだ。信じらんない!
1094 ちゅっ♡んちゅるっ……んう……ちゅるっ♡……んちゅう……ちゅっ
1095 …ちゅっ♡

//SE 服脱がす衣擦れ

(服を脱がす息) …っはあ、はあ、っはあ、はあ、っはあ、はあ、

(肩の傷気が付く息) ……っ！

え……なに…これ…。ここも……噛み跡……？

咲月にやられたの？ アイツこんな癖あったんだあ……。

……サイテー、花南の身体傷つけるなんて……

ああ……痛そう。私は絶対こんなひどいことしないから……。

(傷にキス) ちゅっ……ちゅっ……んん…かわいいそう…

アイツがつけた傷、全部ホイミしてあげる……

足りないか、ベホマズンだっ

んちゅっちゅめる……ちゅっ……ちゅっ……♡

むかつくっ、こんなのすぐ治してあげるから……

ちゅっ…んちゅっ……

……今日？ ん、大丈夫。親は両方仕事でいないし、

おねえちゃんいるけど、もうすぐでかけるって言ってたし……。

スカートも、皺になっちゃう……腰、上げて……

わあ、下着かわいい……♡

私に見せたくて、付けてきてくれたんでしょ……？

ありがとね、嬉しい…かわいい♡ ちゅっ♡

……ねえ、花南ちゃん。

キスだけで……アソコ、びちょびちょなんですけど……？

いつのまにそんなにえっちな身体になっちゃったの？

せっかく可愛い下着だけど、汚れちゃうから脱いじゃおうね……♡

//SE パンツ脱がす衣擦れ

……はあ♡♡ 花南の匂い、いっぱい……♡♡」

花南 「…はるかしいよ……恋雪ちゃんも……」

恋雪

「……あ、そっだよね。この前も花南だけ裸にしちゃって、花南だけ恥ずかしい思いさせちゃって……ごめんね。」

じゃあ……花南が脱がせてくれるc。」

//SE 服を脱がしてもうらら衣擦れ

(キスをしながら脱がせてもらう)

「ん……♡ちゅっ…ちゅる……ふふ、恥ずかしいね。

んっ…ちゅ、ちゅるちゅるん…んちゅっ……はあ、はあ、

…あ……ブラも、とっちやうっ。

……ふふ、あんまり見ないで……んっ……ちゅっ、ちゅるる…、

ふふ、見ないでって……ば…♡」

花南

「恋雪、キレイ……」

恋雪

「やだあ……、花南の方がキレイだよ……。

花南のおっぱい……大好き♡

(おっぱい吸いながら)んちゅっ♡……っ、…ちゅっ♡…ちゅ♡

…ちゅっ♡…ちゅぱっ♡…ちゅぱっ♡…ちゅぱっ♡

(花南が胸を揉む)……んふ、あん♡

…ああ、花南の指が…私の乳首つまんでる……夢みたい……

んちゅるっ…ちゅるっ…んちゅっ…ちゅるるる……ちゅるるる…

んんっ♡♡

ああ…。裸で抱き合っって……こんなに気持ちいいんだね……。

っはあ、はあ……片思い…結構キツかったけど…それ、全部……

溶けてなくなっちゃっう、みたい……んんっ♡

(花南の腕を掴み自分の股間へ)ねえ…私の「」も……触ってみて

……ほら、花南のかわいい声聴いてたら

こんな濡れちゃったよ……っ？ 花南がこんな風にしたんだよ…っ？

(花南のアソコに触れる)花南も……すっごい♡

もう、シートまでびしゃびしゃにしちゃって……♡

ああ、いいのいいの。そんなこと気にしないで…

いっぱい…感じて……っ。

私のすること…真似してっくらん……っ。

くりちゃんを…優しく、こねこねするの。弄りっっ、してみよう♡

(くり弄りながら、弄られる)…っふ……んん♡……

はあ…あ…あ…あ…は……ああ、あ……あ……んんっ♡

1172 (キスしながら)んちゅっ…ちゅっ♡……っはあ、はあ、はあ、あ
1173 …そう、上手…えっちなお汁いっぱい塗り付けながら…
1174 指の腹でべろべろ……して……♡
1175 ちゅるっ、んちゅ…んっ…んっ♡
1176 あ、上手……♡ 花南の、指……いい♡
1177 それ、きもち、いい……っ♡
1178 ……あ、花南…声、抑えてね。お姉ちゃんにバシちゃうみ。
1179 ……ふふ♡ 我慢できないの？
1180 大丈夫、花南は強い子だから、声我慢できる……ふ♡
1181 ンチュ…ちゅるる、じゅるっ…んはああ、ふあ、あ、
1182 …あああ…痺れ、る…んちゅっ…
1183 ふふ、花南……もっ、腰動いてる……♡
1184 私の、太ももに……擦りつけて、くるから…
1185 びちゃびちゃになっちゃったじゃん……ちゅっ♡
1186 えっちな、子だなあ……♡ んちゅ、ちゅるっ……フム、
1187 もっ、指、止まってるよ。わかった、わかった。
1188 とりあえず、クリでイっとうっか？
1189
1190
1191

1192 (クリ強め早めに責める)
1193 んっ……っ♡……っ♡……っ♡……っ♡……っ♡
1194 ほら、イッていいよ…♡ 皮剥いて「シ」シ…気持ちいいね♡
1195 気持ちいいね♡ 花南、こじめるぬるこじって擦り上げられるの、
1196 たまらないんだよね♡♡
1197 ふふ、声……ダメえ…我慢だよ……♡
1198 (キスでふさぐ「ディープ」)んっ…じゅるる……んっ…んっ…っ♡
1199 んんっ♡♡ じゅるっ、ちゅるる、じゅる、ちゅっっっ
1200 ……っはあはあはあ、イッていいよ…かわいい…
1201 いいよーいいよー花南……花南……♡
1202 イケ…イケイケイケイケ……♡ 花南、イッて……っ♡んっ♡ん、
1203 ん、ん、ん、ん、んー！」
1204
1205 //SE 潮吹き

1206 花南 「(絶頂)~~~~っ！！！！」

1207 恋雪 「(絶頂受け止め)んんんっっっっ！！」

1209
1210 花南 「——はあぁ、——はあぁ、——はあぁ、
1211 ——はあぁ、——はあぁ」
1212

1213 恋雪 「んんんん~~~~っ♡♡♡
1214 ひひひひ…いった顔かわいすぎるひひひひ!!
1215 えらいねえ、がんばったねえ、よく声我慢できたねえー♡♡
1216 (ティープキス)んっっ…じゅるる、んちゅっ、んあ…んちゅる
1217 る、はあ、あぁ、んじゅる…っんん、はあ、はあじゅるる…♡
1218 花南あ……花南、花南、大好きい……んじゅるる、ちゅるる、
1219 花南あ………」
1220

1221 (下の階からおねえちゃんが声をかけてくる)
1222 おねえちゃん「恋雪—— 恋雪——」
1223

1224 恋雪 「(ティープキスから急いで離れる) ……っはあっ…
1225 やば、おねえちゃんだ……っ…
1226 (下の階へ)なあっ——っ。」
1227

1228 おねえちゃん「ちゅっじゅかけてくるから—
1229 ヲ飯いらないっっっっっっっっ—」
1230

1231 恋雪 「わかった—! うっっっっっあぁあ—っ—
1232 (出ていく音に耳を澄ます) ……………。
1233 行った? ……行った、ね。
1234 ……ふふ♡ ねえ、皆いなくなっただよ。
1235
1236

1237 //SE 覆いかぶさる、体制を変える衣擦れ
1238
1239 (上に覆いかぶさるながら)
1240 じゅで……花南の可愛う声、うっぽっ聴ける……ね♡ ちゅっ♡
1241

1242 (松葉崩しの体勢へ)
1243 花南、ちゅっっ足上げる……ね。
1244 えっ、女の子のセックス、するんだよ。

1245 私、花南ともっといっぱい……ひとつになりたい……の……っ♡♡
1246 アソコ同士をくっつけて、いっぱいっ♡……
1247 気持ちよくなるんだよ。

1248
1249 (あそこをくっつける) ……んっ♡ そう、腰、上げて…
1250 気持ちいいとっ、充ててっらん……♡
1251 あっ…花南、の、ドロドロ…お、熱い…っ。
1252 ……ふあっ、やだ、花南、腰い…動いちゃって、るよ、おお…
1253 はあ……っ♡

1254
1255 (ゆっくり腰を動かす) クリちゃん同士が…グジュングジュンって
1256 …すっ……ディープキス、してる……んっ♡
1257 ほら、花南、見える……？ 私たちの、溶けあって…
1258 いっぱい、泡立って、きてる…よ…♡
1259 ……ふあっ、んっ、…あ、…あ、…あ、…んああっう、ああっ……
1260 すっ、いい…いいっ♡

1261 (嬉しさで涙ぐむ) こ、んな…世界、あるんだね……
1262 大好きな女の子と、の、せっく、す…が…
1263 こんな気持ちいいなんて……んっ♡
1264 ふふ、泣いてないもん。いいから、アソコに集中して…(腰入れ
1265 る) なっ！

1266
1267 (強く腰動かす) ん、ん、んっ、ああ…ああっ……あ！
1268 あ…、ふああっ♡あああっ！あ…あ…ああ…、ああ…ああ……
1269 あああ…っん……んっ、ん…ん！
1270 ふっうっ♡…っく、んふうっ……んっ、んっ、んっうっ！
1271 んふっう、うっん…っああ…あ…ああ…っ！
1272 ああああ……きもち、いいっす、…き……す…き…好きい…っ！
1273 花南…花南、好き…花南、の、声…も、花南、の…顔も…、
1274 全部、えっち…すぎ、て……私…優しくしてあげたい、の…
1275 んはあ…っ！
1276 も……っど、……もっど……えっちな花南、
1277 …見たくなっちゃって…私っ………！

1278
1279 花南 「いいよ、大丈夫…恋雪の好きっ、してほっし」

1280
1281 恋雪 「(理性吹っ飛ぶ) ……っ!! は…なあっ………！

1282 (腰のふりおさえられなくなる)

1283 ダメ、だよお…私の好きにし、て、いいっ…なんて…っ

1284 そ、んな可愛いこと、言われた…ら…私……

1285 咲月っ…みた、いに…なりたく、なんかっ…ない、のに

1286 …んああっ♡ ん…んっあああ…っ！

1287 頭…とびぞう…っ、っはあ、はあ、はあ、

1288 腰…とまら、ない…よお……！

1289 ごめん…花南、ごめん……っ

1290 ふああっ！ あ！ あ！ 気持ちいいっ！！

1291 こ…こ、こ…気持ちいいと、こ…あた、あたってる……

1292 こっ、こっ……きもち、いいっ……！

1293 ぎ、もち、ニっ……！ ぎ、もち、ニっ……！

1294 花南…も、イキそう？ いいよ、一緒にイこう、

1295 んああっ、花南…いっしょ、に……っ！

1296 んあっ！ …はああ！ あっ！ ああ！

1297 ん…ん…私、も、…もう、イク…イ、ク…っ

1298 イクイクイク…っ…うっうんっ♡♡

1299 (絶頂)ふああああんん…っ♡♡♡♡

1300

1301 (おはち巡り)——あああ、——あああ、——あああ、——あああ

1302 ……ああ、き、もち……いいい♡♡♡

1303

1304 ——はああ、——はああ、——はああ、——はああ。

1305 は、な……大丈夫？ 最後ちよっと夢中になっちゃった……

1306 身体、辛くなかった？

1307

1308 ……へ、もっ……っ。

1309 ふ…ああ、ああはは！ 全然心配することなさそうだね♡

1310 よーし、じゃあ、恋雪ちゃんがんばっちゃうぞー☆

1311

1312 (恋人キッス)ちゅっ…ふふっ♡

1313 ……んっ、ちゅっ…ん…ちゅるっ、ちゅっ…ちゅっちゅっ

1314 ……ん…ちゅっ♡

1315

1316 花南、大好き。一生幸せにするから……。

1317 世界で一番、幸せな女の子にっちゃうからね。

1318 ……覚悟は、いいっ。」

1319

花南 「わ、私だって、恋雪を世界一幸せにするもんっ！」

1320

1321
恋雪

「へ、私……も？ 花南が幸せになってくれちゃうの？
うふふ、じゃあ、一緒に世界一幸せになっちゃおう。

1323

まあ、負ける気はないけど♡

1324

花南、愛してるよ！

1325

（お互いじゃれ合いながら笑い混じりでキス）

1326

きやははは！ ……んむうつ、んんっ♡ちゅっ…ちゅるっ…んうつ

1327

うつ♡んん…！んちゅうつ…ちゅるうつ…んうつ…！…んちゅ…ちゅ

1328

う、んりゅうつ、ちゅう…じゅるるっ♡

1329

あんっ♡ んふうつ、うつ、ああん、あっ……んふはあ、ああ、あ、

1330

ああ、あ、……んああんっ…♡♡♡」

1331

1332

//AD 二人のじゃれあつキス音と喘ぎ声 f.o.

1333

終わる

1334

1335

1336

1337

1338

1339

1340

1341

1342

1343

1344

1345

1346

1347

1348

1349

1350

1351

1352

1353

1354

1355

1356 トリックア『咲月・回想ルート』

1357
1358 ■春休み最終日 咲月の部屋 花南は咲月を選んだ場合
1359

1360 //SE ユンポーン
1361

1362 (玄関先にて)

1363 咲月 「……うそ、花南……。断りに……。来たんじゃないよね。花南って
1364 律儀だからさ、ちゃんと直接私を振ってあげようとかさういふんじ
1365 や……。

1366 ……ホント、じつ。ホントに……。私なんかで、いいのさ」
1367

1368 花南 「(じじいS領へ)」
1369

1370 咲月 「(涙ぐむ) ……！ そ、そっか…そっかそっか……。
1371 (腰が抜ける) あは、はは……」
1372

1373 (花南、腰が抜けてしゃがみ込む咲月を支える)
1374 咲月 「あ、うめんっ……気が抜けたら立てなくなっちゃった。
1375 花南、部屋まで……運んでくれないさ」
1376

1377 //SE 部屋に入るドア音
1378 //SE キット倒れ込む音
1379

1380 咲月 「(倒れ込む息) ……。あ、離れないで。
1381 じのまま……だっじ、してっ……。

1382 ……べすっ、嬉しい。本当に嬉しい。私を選んでくれて、
1383 ありがとう花南。本当にありがとう。
1384 私、花南が好き。

1385 じの想いから卒業しなきゃいけなくなるかもって思っただけで、
1386 ずっと苦しかった……。
1387 あんなにキツくつけてもらったキスマークも
1388 だんだん薄くなってくの。
1389 それ見てるだけで不安で……辛かった……よお。
1390

1391 ……キスして、花南。

1392 (恋人キス)ん……ちゅっ、んちゅっ……ふっ……ん……ちゅるっ…
1393 じゅる…んはあ、んんっ、……じゅるっ、ちゅる、んじゅる…
1394 もっと…もっと……夢じゃないって、本当なんだって……
1395 花南の気持ち、確かめさせて……んう
1396 …んんっ、ちゅる、じゅるっ……んあ、……ちゅる……
1397
1398
1399

//SE 服を拭衣擦む

1400 (キスしながら服を脱がす)ふあ…っん、
1401 花南に…ぐちゃぐちゃにして、ほしいっ……。
1402 んっっ、じゅるるっ、ちゅりゅりゅ…っんんっ！
1403 私のこと、全部、全部……花南だけのっ、ものに……っ。
1404 花南……花南あ……♡
1405 んじゅるっ……ちゅるるっ……ああ…あっ……♡
1406

1407 ……ふええ、キスだけでもうびちゃびちゃになっちゃった……。
1408 私、花南とえっちなこと覚えてから、おかしいの……。
1409 毎日毎日、花南がキスしてくれたアソコが疼いて……
1410 そっ、自分、で……どうにか抑えようと思って……シテ、たら……
1411 そしたら……見て……
1412

//SE 指入れる水音

1413
1414
1415 (自分で指を入れる) ……んんんっふうっっ♡ っはあ……、
1416 指…入るようになっちゃった……。
1417 あ、ね……花南の指で……こっ、かき混ぜてほしい……。
1418 大丈夫、だよ。全然痛くないから。いっぱいちゅーしながら、
1419 私のアソコ、ぐちゃぐちゃに……して、くたさう……♡
1420

//SE 花南の指入っっっ

1421 んあ……あああっ！ ああ…っ♡あ、あ、…ああ、……あああっ、
1422 んん♡んんん…んっ……！
1423 入って、き、たあ……んう…ううっ！
1424 ふああ、自分のと全然違う……っ♡
1425 ぐちゅぐちゅ……シて♡
1426 花南あ…ぐちゅぐちゅっっ……ぐちゅぐちゅ……
1427
1428

1466 あっ……あ……イ……イク、の……止まん、な……い……♡

1467

1468 //SE 体位を変える衣擦れ

1469 //SE 目<ロ<サ水音

1470

1471 んんっ、あああっ！ あ、…花南…あ……花南、のアソコ…

1472 擦りつけ…ない、で……んああっ、はっ、あっ！

1473 ら、らめえ…まだ、イってる……のに、

1474 ごんな、こと……され、たらああっ♡んあっ、んあっ、んあっ、

1475 んあっ、んあっ、熱、い…っ！

1476 私のクリちゃん……花南のに、たべられ、ちゃ、うっ……

1477 っっんっ♡

1478

1479 //SE 目<ロ<サ早い水音

1480

1481 ひゃああっっ♡あ……あ……ん……！

1482 っ…♡あああ！あああ！あああ！……んはあっっ…♡

1483 ん！ん！ん！は……ああっ…ああ♡ああ♡ああっ♡

1484 花南、はげ…し……い…っ♡

1485 っああ…ああ…あ…あっああ…あ…ん…んっ♡ん…く…

1486 花南あ…また、イク…すぐ、イクうっううっ、ううう…っ

1487 (絶頂) ……っっっ…♡♡♡

1488

1489 う…う、ん……っああ…うっ…っ、ふ…！ああああ…あ！

1490 あああああんっ♡ ま、って……待って、

1491 花南…か、かんじ、過ぎて……こわ、れ、ちゃう……！

1492 クリちゃん、食べないで、ええええっ♡きもち、よ、すきゅる……

1493 からあああんっ♡イク…またイク、イっちゃう……

1494 ダメダメダメダメ…ええ…っ…！

1495 (絶頂) ……っっっ…♡♡♡

1496

1497 ……っはああ、はあ、はあ、あああっ！

1498 止め、て……花南…ああっ♡や……やっぱり、止めない、でええ♡

1499 好き……きもちいい……

1500 私、を、全部、全部…あげ、るっっ…っ♡

1501 あ…あ…♡あ…あ…あああ…ん…♡ん…ん…

1502

くっくっく…う…！ うっ…うっ…う…、

1503 んん…あああ…っ！ っっっっっ、ふううう！
1504 あ…ああっあ…あん…っ♡
1505 花南、一緒に、イっっ…っ♡一緒にっ♡一緒にっ♡一緒にっ♡
1506 ……っあ♡…っあ♡…っあ♡…っあ♡…っあ♡
1507 手、繋いで…ぎゅて、してっ…！
1508 んああっ、ああ、ああ、あ、あ、あ、あ…ああっ…！
1509 ……イ…クッッ♡♡♡
1510
1511
1512

//SE ふだらの潮吹き

ふだり 「(絶頂) めめめめめ♡♡♡」

1513
1514

咲月 「(余韻) あああ——っ♡あああ——っ♡あああ——っ♡

1515
1516 きもち、いい…♡花南あ……

1517 (キスで余韻を落ち着かせる) んう…っちゅっ♡ちゅっ、んうっ
1518 ……じゅる…んふうっ……じゅるう…んるう、んるう…う…っ
1519 ……♡ん…ん♡ちゅっっっるっう…ぢゅる…んぢゅる♡
1520

1521 はあ、はあ、はあ…あ……ごめん、私、また肩噛んで……。
1522 あ……血が滲んでる…痛いよね、ごめんね……。

1523 花南はもう私の彼女なんだから、
1524 マーキングなんてしなくていいのよね。

1525 私……この癖、ぜったい直すから。

1526 やだもん、キレイな花南の肌……傷つけるの……。

1527

1528 なんか……こうしてぎゅってしてもらってるじ、
1529 やっと実感出来てきたよ。夢じゃないんだって。

1530 花南、大好きだよ。初めて会ったときから、

1531 ずっとずっと、好きだった。

1532 一生、一緒にいようね。

1533

1534 ……あ。

1535 そっだ、忘れてた！

1536 花南が私を選んでくれたこと、

1537 恋雪に連絡しなきゃいけないんだった！

1538 同盟で約束してたの。

1539 どちらかの家に来た時点で知らせるじゅっ。

1540
1541
1542
1543
1544
1545
1546
1547
1548
1549
1550
1551
1552
1553
1554
1555
1556
1557
1558
1559
1560
1561
1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571
1572
1573
1574
1575
1576

じゃないと、期待してずーっと待ってなきゃいけないなんて地獄じゃない。
んー……なんて送ればいいかな……。
「ごめんね」……じゃ、悪いことしてるみたいだし
「うちらに來たよ」じゃ、なんか業務連絡みたいだし……
うー……。うー……。うー……。

あ、花南が悪いなんて思うことは絶対にないよ。
私もし振られてたとしても、
花南が幸せそうならそれが一番なんだもん。
恋雪もそう言ってると思う。それだけは絶対だから。
この三年間、一緒に片思いしてた同盟仲間だから、わかる。

んんー、花南ちょっと待ってて。
これ送ったら、もっかい……シよ。
……ふふ♡♡ んーちゅ♡♡♡♡

終わら

1577 トリック8『ふたりとも失恋ルート・慰め合いっち』

1578 ■春休み最終日 恋雪の部屋 夜

1579 恋雪 「(クソデカ溜息) はあああああゝあ。

1580 ……まあ、三年間ずっと友達だったわけで……

1581 そりゃそつだよなって感じだけだね」

1582 咲月 「(ベッドに体操座す) ……………こひぢ」

1583 恋雪 「(スマホ見せながら) ほら、見てよ。すごい長いメール。

1584 考えて考えて、言葉選んで送ってくれたんだよ。

1585 あんたんとこにも来たでこひ」

1586 咲月 「……………来た。この三年間の思い出全部書いてあった」

1587 恋雪 「同じ内容じゃないもんね。

1588 は…………めっちゃくちゃ気い遣わせただろうなあ。

1589 良い子好きになったよ、私たち。

1590 花南のおかげで最高の高校生活送れたわけじゃん。

1591 また三人で、さ、大学生活新しい思い出つくるよ」

1592 咲月 「んえ……」

1593 恋雪 「泣くなー」

1600 咲月 「びえええ」

1601 恋雪 「女のくせに失恋くらいで泣くな」

1602 咲月 「すき、だったんだもん……………」

1603 恋雪 「そりゃ私だって……」

1604 咲月 「あんたみたいな単細胞にはわかんないよ……」

1612 恋雪 「あのねえ、私だってマジ泣きたいのに、横であんたがメソメソメ
1613 ソメソするから、ろくに悲しめないじゃないのよー！」
1614

1615 咲月 「じゃあ呼ばないでよー！」
1616

1617 恋雪 「一応同盟だったんだから締めというか、
1618 けじめをつけるために報告会しようって言ってんじゃないの」
1619

1620 咲月 「いらないよー、失恋に浸らせてよおおおお」
1621

1622 恋雪 「だいたい、あんたがなんか変なことしたんじゃないの!?
1623 シたこともないクセに私の真似してー！」
1624

1625 咲月 「……はっ、そうかも」
1626

1627 恋雪 「……なにしたの」
1628

1629 咲月 「噛んだ……血が滲むくらい」
1630

1631 恋雪 「はあああ!?! (胸倉掴む) 私の花南になんこしててんの!?!」
1632

1633 咲月 「(馬乗りになられる息) っんあうっー!
1634 だ、だって、気持ちよすぎたんだもんっー!
1635 だし、花南は恋雪のものじゃねえー!」
1636

1637 恋雪 「(取っ組み合い息10秒くらい) あんたのものでもないでしよっ、
1638 交尾でっ! 噛むとかっ! ソウアザラシかってんのー!」
1639

1640 咲月 「(取っ組み合い息10秒くらい)
1641 ソウアザラシじゃっ、ないっ、もん!
1642 バカのくせに無駄な知識ばっかりっ!」
1643

1644 //AD 2人、取っ組み合いの「うてっ」「ぐあっ」「もう、やめて
1645 よっ」など……もみ合ってるうちに「わたしたちなにしているんだろ
1646 う」と情けなくて泣けてくる息 30秒以内くらいでぐだれろ
1647

1648 咲月 「(半泣きで) ……もう、ないやっってんだろ、私たち」

1649
1650
1651
1652
1653
1654
1655
1656
1657
1658
1659
1660
1661
1662
1663
1664
1665
1666
1667
1668
1669
1670
1671
1672
1673
1674
1675
1676
1677
1678
1679
1680
1681
1682
1683
1684
1685

恋雪

「……っ。ぐずずっ、咲月…っの、ばかあ！
（勢いよくキスする、いきなりディープで口ふさぐ。）
咲月抵抗するので押さえつける息入れながら」

んふっ！んじゅっ…っ…んるううっ…ちゅう…んふっ…ちゅ
うる、ちゅるるうう♡んんんっ、じゅろっ、んじゅっ、じゅるる
……っふ、んんっ、んじゅろろ、ちゅううう、んちゅるるっ！」

「（組み敷かれキスされる、抵抗息）んうっ…っ………ふ、…っ
は！や、め……んんんっ！ん！…っ！…っ！
…ふあ、……っんぐう、んんんーっ」

恋雪

「……なに、よ。
自分ばかり傷ついたみたいな言い方しちゃって。
花南は…私の初恋なんだよ。真剣だった。

私だって自分の柱を無くしたようなもんなの。
だけど、花南のためにまた友達に戻ろうって、してるのに……
あんたは……」

咲月

「はな、せ……っ」

恋雪

「……とか言いながら、なに太もも擦りつけてきてんの。
見かけによらず、あんたネ」？」

咲月

「……っ！カンケーないでしょー！」

恋雪

「私はちゃんとイカせてあげたよ。
あんたが下手だからまとめて振られたんじゃないの？ 私たち」

咲月

「——っ！ あんたなんか大嫌い」

恋雪

「やっとしっぽ出したな、
私だって、いなくなればいいと思ってた」

咲月

「なにが……同盟だっ！ あんたなんかずっと敵だったー！」

恋雪

「上等だ、このやろ…うっ（乱暴にキスを始める）……んんっ！」

1686 咲月 「んふっ……」

1687

1688 //AD 悲しさと怒りとお互いの同情が入り混じるようなキス息
1689 30秒くらいでわっ
1690

1691 (お互いの服を脱がせあっ)

1692

1693 //SE 服を脱ぐ衣擦れ

1694

1695 恋雪 「(服を脱がせあっ息 30秒くらいでわっ)

1696 ……っはあ、はあ、はあ、……っ、あっ……んあ…… なぎ」

1697 咲月 「(服を脱がせあっ息 30秒くらいでわっ)

1698 ……っはあ、はあ、はあ、……っ、あっ……んあ…… なぎ」

1699

1700 恋雪 「(首筋から全身リップのキス音下へ) ……ちゅっ、ん…チュッ……

1701 ちゅるっ、…んちゅっ、…ちゅうっ…ちゅ、ん…っ……ちゅ

1702 っ、ちゅ……」

1703 咲月 「(全身キスの反応息) はあ、はあ、はあ、……ふあ、…あ、あ、

1704 ……ひあっ！ ……あっ♡…あっ♡…あっ♡…あっ♡…あっ♡…あ

1705 っ♡」

1706

1707 恋雪 「ふふ、めっちゃくちゃ感度いいじゃん。

1708 花南にしたこと、ぜんぶしてあげようか」

1709

1710 咲月 「やめ…て、よ。趣味が悪い。

1711 ……花南にしてもらった、か、ら……結構っ」

1712

1713 //SE 指入れる水音

1714

1715 恋雪 「ふふ……すんごいびしょびしょ。

1716 じゃあ……花南にしてないこと、してやろうか」

1717 咲月 「……っんはああー！」

1718

1719 恋雪 「へー、指入るんだあ……。えっろいなあ……。

1720 咲月って、すんごいオナニーしてそーｗｗｗｗ」

1721

1722 咲月 「ばっ………！ ヘンタイー！」

1760 じゅしゃって……クリちゃんトントンしながら
 1761 お腹「シ」がお気に入りかな？
 1762 テンテンテン……♡ いいよー、顔エロくなってるよー♡
 1763 テンテンテン……♡ テンテンテン……♡
 1764 そんな顔、花南にも見せたの？
 1765 花南はこんなにはしたなく喘いだりしなかったっ、
 1766 手マンで感じるなんて下品なこともなかったよ？
 1767 咲月はええろへんタイちゃんだから、
 1768 じんなじと言われて感じちゃうんだよねー？」
 1769 「(手マン始めの) ひゃあっっっ……んっ♡
 1770 (手マン喘ぎ30秒以上)
 1771 ……じ、ゆき……絶対、ゆるむ、ない……からー！」
 1772
 1773 恋雪 「そんなエロい顔して吠えたってなんにも刺さりませんよーだ。
 1774 いいから「コ」ほら、集中して……イっつけっ♡
 1775 ん……ん……ん……ん……♡ほらほらほら♡きもちいいー♡
 1776 きもちいいー♡
 1777 イーけ、イーけ、咲月のよわよわマン」……
 1778 イケイケイケイケ……っ♡♡♡」
 1779 「ああ……あ……っ！♡ああーああー……ああーああっん……！
 1780 ん……っく……っうう……んぶっ…、う……ううううっ！
 1781 んっうっ……ああ……あ！
 1782 う……っううっ、ぶっうっううああ……ああああん……っ♡」
 1783
 1784 恋雪 「イクときはイクますって言いなさいっ♡」
 1785
 1786 咲月 「イク……も、むり……イ……っくっ……
 1787 イキます、イキます……イキ、ま、すっくっ……っ♡♡♡」
 1788
 1789
 1790 咲月 //SE 潮吹き
 1791 「(絶頂)ぶっくっくっあああ……ああああん……っ！
 1792 ……っ♡♡♡♡」
 1793 恋雪 「(顔にかかる)んあああんんっ♡♡♡」
 1794
 1795 咲月 「——っはあ、——っはあ、——っはあ……
 1796 はあ、はあ、はあ……あ」

1797
1798 恋雪 「——っはあ、——っはあ、——っはあ、はあ、あは、あははは！
1799 咲月 めっちゃかわいいい——っ！
1800 イキますだって——！ すごい素直に、イキます……っ……
1801 あははは——」

1802
1803 咲月 「ああ……恋雪、サ、イター……はあ、はあ、ああっふっ♡
1804 んは、あ、……すっ、い……お腹、ピリピリ……っ、っ……
1805 おさまん、ないい……んぷっ……」

1806
1807 恋雪 「……咲月、えっろえっろじゃーん。
1808 わかったわかった。上手にイケたっ寝美もあげようね。
1809 ほら、足広げてー……ようっっめ」

1810
1811
1812 //SE 体位を変える衣擦れ

1813 咲月 「……ふえっ……んっ……」

1814
1815 恋雪 「あんたのイキ顔でも……私ちゃんと濡れたよっ。
1816 っ寝美に、女の子のせっっす、おしえてあげようねー♡♡♡」

1817
1818 咲月 「……えっ。」

1819
1820 //SE 尻がぐっぐぐも潤る水音

1821
1822 恋雪 「んぷっ……っ♡♡♡ んんっ、熱、っ……♡」
1823 咲月 「んはああっ……」

1824
1825 //SE 恋雪、腰をぐっぐぐにぐぐぐれる水音

1826
1827 恋雪 「(腰を回しながら咲月の反応を楽しむ)

1828 んは……っ♡ ほっあ……っ♡
1829 私たちの…アン！…潤わっっぐぐぐっっっっっっっ……
1830 聞いっせえっ。
1831 んぷっ……♡んっ、咲月の……くっちゃん、大きいから……
1832 すっっっ私のにっっかかって……ぐぐぐぐぐぐぐぐ……っ♡
1833 ……っほあ♡……っほあ♡……っほあ♡……んああっっ、

1871 く…べっ…うう♡ んっうう！ いいっ♡
 1872 すっ、い…………いい、よ…………咲月い♡
 1873 んああっ…………あ♡ あ…………私、も…イケる、か、も…………♡
 1874 咲月…………私の、クリ…と、咲月のクリの、間、に…………
 1875 指、入れて…クリクリ…………弾い、て…♡
 1876 んあああああんっ！ ふあ、うあ、あっ♡
 1877 そっ、上手っ！ もっと、強く…………うごか、し…………んあ、あ、あ、
 1878 あ、あ、あ♡あああ…ああ…んんんっ♡いいよー！
 1879 あっ！ 気持ちいいっ！ それ、ぎも、ぢ…………いいっ、
 1880 さ、つき…………いい♡
 1881 う…うっううっうっううう、んんんっ！
 1882 ああ…あ…あ…うう…んっう…うっ♡ ふっううううあ…ああ！
 1883 ああああん！♡
 1884 腰、とまんな…………い…………♡ きもち、いいっ♡ きもち、いいっ♡
 1885 きもち、いいっ♡ んんっ！ ん…………んんお！
 1886 お♡おっ♡おお…♡おおおお！ おおお…！
 1887 さ、つき…手、手握って…♡
 1888 きゅってして…………♡んぶっうっ、あ、イク…っ♡
 1889 イクイクイクイクイクイクイクうっう……………！
 1890 「(セリフ合わせ、最後のセリフに反応して) 恋雪…っ、あっっっ、
 1891 ……わたし、も…………もっ、だめええ…………♡
 1892 いっしょ、に…………恋雪……………いっしょ、に…………！
 1893 んぶっうっ…！
 1894
 1895 //SE ふだの潮吹き
 1896
 1897
 1898
 1899
 1900
 1901
 1902
 1903
 1904
 1905
 1906
 1907

咲月

恋雪
咲月

恋雪
咲月

恋雪

「咲月……………ん…っ(キス)ちゅっっ、ちゅるるっ…ん…んっっじゅるっ…んぶっ…じゅるる、んっう…ちゅう、ちゅるっ…んぶっ…、んじゅる…ちゅっ、ちゅるっ、ん…っ♡」

1908 咲月 「(キス受け息AD)」
 1909
 1910 恋雪 「……んはっ……はあ、はあ、ちょっと八つ当たり……
 1911 しちゃった、かな。ごめん」
 1912
 1913 咲月 「はあ、はあ……私の方こそ……ごめん」
 1914
 1915 恋雪 「うん。……ふふ、…あははは……っ」
 1916
 1917 咲月 「ふふ……っふふ……っ」
 1918
 1919 恋雪 「……ねえ、きもちよかった?」
 1920
 1921 咲月 「ま……まあ」
 1922
 1923 恋雪 「私はね、すっごく良かった」
 1924
 1925 咲月 「……っ!」
 1926
 1927 恋雪 「それで、提案なんだけど……新しい同盟、組まない?」
 1928
 1929 咲月 「え?」
 1930
 1931 恋雪 「お互い、また花南くらいいい女に出会うまで、
 1932 ほてった身体を慰め合う同盟」
 1933
 1934 咲月 「それ、ただのセフレじゃん」
 1935
 1936 恋雪 「そんな身も蓋もない言い方やだあー!
 1937 ロマンチックなやつがいいのー!」
 1938
 1939 咲月 「……なんか、青春してる男の子が河原で殴り合って
 1940 友情確かめあうヤツみたいで……ダサいなあ……」
 1941
 1942 恋雪 「私たちはイカせあって心と体を埋めあうってか……
 1943 最高の友情じゃん……! 青春じゃーん!」
 1944

1945	咲月	「……はあ。んもっ、なんでもいいよ！（キス）ちゅっ」
1946		
1947	恋雪	「んふっ！（目、ぱちゅり）……え、じゃあ」
1948		
1949	咲月	「……いいよ。ノッた」
1950		
1951	恋雪	「ホントに？ いやったー！
1952		これでしばらく悶々としないますむー！」
1953		
1954	咲月	「人をストレスと性欲発散に使わないでくれる」
1955		
1956	恋雪	「使うよ。咲月も、花南の感触忘れるまで
1957		私を貪ればいいじゃない。
1958		そうしてたら、きっと、悲しさも消えてる」
1959		
1960	咲月	「……！」
1961		
1962	恋雪	「一緒に片思いしたんだもん。失恋も一緒に乗り越えよ。
1963	咲月……（キス）ん……♡」	
1964		
1965	咲月	「ったく……（キス受け入れ息）んふ……♡」
1966		
1967		//AD らだろ 一回戦を始めるキス息（30秒くらいで終わる）
1968		
1969		
1970	キス音 f.o.	
1971		
1972		
1973		
1974		

終わる